



# 平和資料館 草の家 だより

No.113

2011年12月20日発行



草と草の根の連帯をあらわす  
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586  
E-mail: GRH@ma1.seikyoin.ne.jp http://ha1.seikyoin.ne.jp/home/Shigeo.Nishimori

## 怒りを行動へ

- 原発、沖縄・普天間基地、年金引き下げ、消費税増税 -

平和資料館・草の家 館長 岡村正弘

福島第一原発事故の深刻な被害が次から次へと報道されています。米が、魚が、粉ミルクが、あらゆる食物がセシウムに汚染されています。そのたびに政府や学者は「今すぐに人体に影響はない」と言います。この言葉を聞いたときに「いいかげんなことを言うな」と怒りがこみ上げます。

仮設住宅には雪が降りつもり、喜んで雪合戦をする子どもに「放射能が危ない」という母親。部屋には暖房もありません。

事故後の原発の建屋には汚染された水があふれそうです。その水を、東京電力は漁民の監視がなければ海に流そうと企んでいます。海水で薄まるので影響はないと言います。

放射能汚染の除去を徹底させること、被害の全面的賠償をさせること、全ての原子力発電所の廃炉を求めて今こそ連帯し声をあげましょう。

日本には原発が54基ありますが、今は8基しか稼働していません。来年3月の定期点検では残りも止まる予定です。すでに起きてしまった過去は変えられませんが、未来は変えることができます。原発に頼らない発電は他国がすでに試み、成功しているように夢ではありません。何よりも尊いものは命です。もちろん人の命に限らず、植物も、動物も、地球に生きるすべての生命を守り、それらが健康に育まれるために再稼働を許さない国民的運動が必要です。

沖縄・普天間基地「県外、国外移設」という公約を反故にして辞任した鳩山政権、代わって登場した菅政権も民意を無視し裏切り、原発事故への対応では、財界本位の計画のおしつけ、度重なる不信政治で退陣しました。

現在の三代目・野田政権は、アメリカ・財界の顔色をうかがう忠実な「しもべ・使い走り」政権といわれています。消費税10%への増税、そしてTPP交渉参加を打ち出しました。これは、本当に日本の未来を照らすものとなるのでしょうか・・・？

日本政府の弱い者いじめとアメリカ政府追随姿勢は、国民的運動ではね返さなくてはなりません。

怒りを行動へ、私たちは意志を示し、連帯することによって未来への展望を切り開きましょう。

来年は、高知が生んだ反戦詩人・榎村浩(1912.6.1-1938.9.3)の生誕100年目を迎えます。この草の家だよりが発行されるのと同じ頃12月19日(月)に、「榎村浩生誕100年祭を語る 大懇親会」と題して、記念行事の計画について語り合いたいと思っています。

今後、実行委員会を立ち上げて、準備を進めていく予定ですので、みなさんの中に何か良いアイデアなどありましたらぜひお寄せください。